

施設名：東北大学病院検査部  
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表  
文書番号：F-内-一覧-8  
第9版 1 / 10

複写の有無 ☒ 有 / 無 （配布先：診療支援トップページ）

改版・レビューの履歴

版番号	運用開始日	内容	承認	作成/レビュー
第1版	2018/11/1	制定	阿部 裕子	平田 和成 2018/10/23
第2版	2019/6/1	採取容器の名称変更。便、その他、 インフルエンザ抗原検査の材料変更。	阿部 裕子	千葉 美紀子 2019/5/10
-	-	レビュー（変更なし）	勝見 真琴	阿部 裕子 2020/07/30
-	-	レビュー (ファイルを Excel から Word へ変更)	阿部 裕子	佐藤 貴美 2020/9/8
第3版	2021/12/10	レビュー実施 検体採取容器の表示記号変更と SARS-CoV-2 検査の追加	阿部 裕子	佐藤 貴美 2021/11/30
第4版	2022/12/2	レビュー実施 F 容器名を尿培養容器から滅菌スピッツに変更。髄膜炎・脳炎パネル検査の追加。口腔と胆汁に嫌気ポーター追加。胆汁に嫌気培養追加。脛に塗抹追加。産道（GBS 検索）追加。微生物検査→微生物抗原検査に修正。	阿部 裕子	千葉 美紀子 2022/11/18
第5版	2023/3/20	・体裁修正 ・PCR 検査 SARS-CoV-2 夜間休日検査実施に「○」追加。 ・微生物抗原検査 <i>C. difficile</i> イタリアック体に修正。	阿部 裕子	中山 麻美 2023/3/1

第6版	2023/12/25	レビュー実施 ・腸液、胆汁、その他(消化器系)、羊水、浸出液、ガーゼの採取容器から綿棒「○」を削除 ・カテーテルの採取容器からケンキポーター「○」を削除 ・喀痰、羊水、胸水、腹水、関節液、穿刺液、膿汁、創傷、褥瘡、浸出液、ガーゼ、カテーテル、耳漏、眼脂、角膜擦過の採取容器に滅菌スピッツ「○」を追加 ・上記変更該当する材料の特記事項を変更。 ・SARS-CoV-2の検査所要時間、受付時間、特記事項を追記。	阿部 裕子	千葉 美紀子 2023/11/30
-	-	レビュー実施（変更なし）	鈴木 千恵	星 啓太 2024/07/29
第7版	2024/12/6	レビュー実施 微生物抗原検査に SARS-CoV-2 抗原検査 追加	鈴木 千恵	佐藤 敦子 2024/11/25
第8版	2025/5/16	レビュー実施 ・微生物抗原検査 HSV:特記事項 修正 ・抗酸菌検査 その他(夜間休日検査実施の塗抹) 削除 ・PCR 検査 髄膜炎・脳炎パネル:夜間休日検査実施欄に「○」追加、検査部へ搬送するまでの保存条件 修正 SARS-CoV-2:特記事項・所要時間・検査部へ搬送するまでの保存条件 修正。受付時間を削除 ・カテーテル提出時の特記事項を修正 ・尿中レジオネラ抗原および尿中肺炎球菌莢膜抗原検査所要時間を 30～90 分に変更	鈴木 千恵	佐藤 敦子 2025/4/16

施設名：東北大学病院検査部  
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表  
文書番号：F・内・一覧-8  
第9版 3 / 10

		・ SARS-CoV-2 抗原の検査所要時間を 30～120 分に変更		
第9版	2025/8/29	レビュー実施 ・ PCR 検査に呼吸器パネル追加	鈴木 千恵	佐々木克幸 2025/8/25

材 料	夜間休日 検査実施	採取容器								対象検査						検体必要量	特記事項	検査部へ搬送する までの保存条件	所要時間
		喀痰培養容器  E	培養検査用綿棒（青） A	培養検査用綿棒（橙） B	抗原検査用綿棒（赤） C	ケンキポーター G	滅菌スピッツ F	血液培養ボトル H	EDTA採血管（③又は⑩）	顕微鏡検査	好気性菌培養検査 （通性嫌気性菌を含む）	嫌気性菌培養検査	真菌培養検査	感受性検査（一般細菌）	抗酸菌検査				
一般細菌検査																			
咽頭			○	○							○		○	○	／	材料そのもの、 または擦過物		・ すぐに提出できない場合は <b>冷蔵</b> 保存。  ・ 尿、膣分泌物 検体で <b>淋菌</b> を <b>目的菌</b> とする 場合は <b>室温</b> 保存。	・ 顕微鏡検査 →検体受付 当日中  ・ 一般細菌 ・ 嫌気性菌 ・ 真菌検査 （薬剤感受性 試験を含む） →2～7日
鼻腔			○	○							○		○	○	／	材料そのもの、 または擦過物			
喀痰		○								○	○		○	○	／	2～5mL			
気管支液		○								○	○		○	○	／	2～5mL			
気管洗浄液		○								○	○		○	○	／	2～5mL			
気管チューブ		○								○	○		○	○	／	材料そのもの			
その他(呼吸器系)		○	○	○						○	○		○	○	／	材料そのもの、 または擦過物			
口腔			○	○			○			○	○	○	○	○	／	材料そのもの、 または擦過物			
糞便		○								○			○	○	／	材料そのもの			
腸液		○								○			○	○	／	材料そのもの			
胆汁		○					○	○		○	○	○	○	○	／	5～10mL			
その他(消化器系)		○						○			○		○	○	／	材料そのもの			
中間尿								○		○	○		○	○	／	5～10mL			

施設名：東北大学病院検査部  
 文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表  
 文書番号：F-内-一覧-8  
 第9版 5 / 10

カテーテル尿							○			○	○		○	○	5～10mL		
フォーレ尿							○			○	○		○	○	5～10mL		
膣分泌物			○							○	○		○	○	材料そのもの、 または擦過物		
羊水						○	○				○	○	○	○	5～10mL		
その他 (泌尿・生殖器系)		○	○				○			○	○		○	○	材料そのもの、 または擦過物		
産道 (GBS 検索)											○				擦過スワブを専 用培地に浸して 提出。		・ 遮光して室温で 提出。
動脈血								○		○※	○	○	○	○	FA、FN ボトルは 10mL、PF ボトル は 1～4mL	※培養 陽性時に 実施する	・ すぐに提出 できない場合は <b>室温</b> で保存
静脈血								○		○※	○	○	○	○	FA、FN ボトルは 10mL、PF ボトル は 1～4mL	※培養 陽性時に 実施する	・ すぐに提出 できない場合は <b>室温</b> で保存
髄液							○			○	○	○	○	○	1～10mL		・ すぐに提出 できない場合は <b>37℃</b> で保存
胸水						○	○			○	○	○	○	○	5～10mL	嫌気性菌を 疑う場合 は、必ずケ ンキポータ	・ すぐに提出 できない場合は <b>冷蔵</b> 保存。
腹水						○	○			○	○	○	○	○	5～10mL		
関節液						○	○			○	○	○	○	○	5～10mL		
穿刺液						○	○			○	○	○	○	○	5～10mL		

施設名：東北大学病院検査部  
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表  
文書番号：F-内-一覧-8  
第9版 6 / 10

膿汁			○注			○	○			○	○	○	○	○		材料そのもの または擦過物 <sup>注</sup>	一で提出する。		
創傷			○注			○	○			○	○	○	○	○		材料そのもの または擦過物 <sup>注</sup>	注) 材料そのものの採		
褥瘡			○注			○	○			○	○	○	○	○		材料そのもの または擦過物 <sup>注</sup>	取が困難な 場合に限り		
浸出液						○	○			○	○	○	○	○		材料そのもの	擦過物で提		
ガーゼ						○	○				○	○	○	○		材料そのもの	出する。		
ドレーン						○	○				○	○	○	○		5～10mL			
組織						○	○				○	○	○	○		材料そのもの			
カテーテル							○				○	○	○	○		材料そのもの	乾燥を防		
CV カテーテル							○				○	○	○	○		材料そのもの	ぐために滅		
CVP カテーテル							○				○	○	○	○		材料そのもの	菌スピッツ		
SG カテーテル							○				○	○	○	○		材料そのもの	に少量の生 食を入れて 提出する。		
耳漏			○	○		○	○				○	○	○	○		材料そのもの、ま たは擦過物	嫌気性菌を 疑う場合は、		
眼脂			○	○		○	○				○	○	○	○		材料そのもの、ま たは擦過物	必ずケンキ ポーターで		
角膜擦過			○	○		○	○				○	○	○	○		材料そのもの、ま たは擦過物	提出する。		

施設名：東北大学病院検査部  
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表  
文書番号：F-内-一覧-8  
第9版 7 / 10

皮膚		○	○	○			○				○		○	○		材料そのもの、または擦過物			
その他	○※	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○		材料そのもの、または擦過物	※髄液の直接塗抹のみ		
抗酸菌検査																			
喀痰		○													○	2～5mL		・ すぐに提出 できない場合は 冷蔵保存	・ 顕微鏡 検査： 1～2 日 ・ 培養検査： 1～6 週間 ・ P C R 検査： 2～3 日 ・ 薬剤感受性 検査： 培養陽性後 2～3 週間
気管洗浄液		○					○								○	2～5mL			
胃液		○					○								○	2～5mL			
尿		○					○								○	5～10mL			
膿汁		○			○		○								○	材料そのもの、または擦過物	・ 培地入りスワブでの提出は検査不可		
髄液							○								○	1～10mL			
胸水		○					○								○	5～10mL			
組織		○					○								○	材料そのもの			
血液									○						○	2～7mL	・ 血液培養ボトルでは検査不可		
糞便		○					○								○	材料そのもの、または擦過物	・ 培地入りスワブでの提出は検査不可		

施設名：東北大学病院検査部  
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表  
文書番号：F・内・一覧-8  
第9版 8 / 10

その他		○			○		○						○	材料そのもの、または擦過物	・培地入りスワブでの提出は検査不可		
気管支擦過塗抹標本													○	塗抹標本そのもの	・顕微鏡検査のみ実施可能		

検査項目	夜間休日 検査実施							必要量	容器	特記事項	所要時間	検査部へ搬送するまでの 保存条件
		咽頭粘液	角結膜擦過物	鼻腔粘液	糞便	尿	病巣基底部擦過物					
微生物抗原検査												
インフルエンザ抗原（A or B）	○			○					D	・ 培地入りスワブでの 提出は検査不可。		・ 乾燥を防ぐため検体採取後、直ちに提出。
アデノウイルス抗原（咽頭）	○	○							C			
アデノウイルス抗原（角結膜）	○		○						C			
A群溶連菌抗原	○	○							C			

RS. virus	○			○					D			
マイコプラズマ抗原		○							C		30～45 分	
Rota. virus					○			拇指頭大	E	・糞便そのものを提出すること。 培地入リスワブでの提出は検査不可。	30～45 分	・直ちに提出できない場合は、冷蔵保存。
<i>C. difficile</i> toxin					○			拇指頭大	E			
アデノウイルス抗原(糞便)					○			拇指頭大	E			
ノロウイルス抗原					○			拇指頭大	E			
尿中レジオネラ抗原	○					○		1～5mL	⑦		30～90 分	
尿中肺炎球菌莢膜抗原	○					○		1～5mL	⑦			
HSV							○		C	・病巣部位をしっかりと擦過し、細胞成分を採取すること。	60～90 分	・乾燥を防ぐため検体採取後、直ちに提出。
SARS-CoV-2 抗原				○					D		30～120 分	

施設名：東北大学病院検査部  
文書名：検査一覧表（微生物）

文書管理者：技術管理主体代表  
文書番号：F-内-一覧-8  
第9版 10 / 10

検査項目	夜間休日 検査実施							必要量	容器	特記事項	所要時間	検査部へ 搬送するまでの 保存条件
		鼻咽頭	髄液									
PCR 検査												
SARS-CoV-2	○	○							I	採取後、培養液に浸す。	2 時間以内。	採取後、直ちに提出。
髄膜炎・脳炎パネル	○		○					1mL	F		2 時間以内	採取後、直ちに提出
呼吸器パネル		○							I	採取後、培養液に浸す。 診療科限定（呼吸器内科、呼吸器外科、救急科、小児科、感染症科、血液内科）	2 時間以内。	採取後、直ちに提出。